

彗星課月報

Monthly Report of the Comet Section, February 2013

課長：佐藤 裕久 *H. Sato*

幹事：下元 繁男 *S. Shimomoto*

○ 2月の状況 (佐藤)

☆ 273P/Pons-Gambart (写真 a、b)

彗星課メーリングリスト (oaa-comet ML、以下同じ。)等に寄せられた報告は次のとおり。

2月20日 23:41、芸西天文台の関勉 OAA 顧問から「273P 久々の芸西での観測です。2月20日 3時30分、70cm F7で撮影。コマはかなり拡散していますが、明るい中心は2'位のもです。やはりグリーンが印象的です。位置光度は後で佐藤さんから発表になります。三回の位置測定を行いました。眼視では127×で幽か。この程度の明るさの彗星は、昔は眼視搜索者がキャッチしていました。イギリスのデニングは25cm反射を使い鋭眼で知られた人。13等位で見えていたと思います。今回の273Pを観測しながら1970年の『デニング-藤川彗星』の暗さを思い出しました」とのコメントと画像の案内があった。

21日 02:02、筆者から「273P/Pons-Gambartの軌道です。1827年の残差は小さくなりました。1827-2013年の観測から摂動を加え1064年の軌道まで遡りました。その間地球には、1645年9月: 0.29 AU、1454年9月: 0.33 AU、1256年6月: 0.48 AU、1827年6月22日: 0.53 AUまで接近しました。2012年は10月22日に0.85 AUまで近づいています。木星に一番近づいたのは1257年4月で2.22 AUまででしたので、軌道の大きな変化はありませんでした」とのコメントと1827年7月18日から2013

年2月19日までの245個による軌道要素と残差を報告した。

☆ C/2012 F6 (Lemmon)

22日 15:34、加藤英司氏 (Ballandean, Queensland, オーストラリア) から「みなさんご無沙汰しております。オーストラリアの加藤です。最近はおつぱらROMで失礼しています。こちらでは、現在、2個の明るい彗星が話題になっています。C/2011 L4 (パンスターズ)とC/2012 F6 (レモン) ですが、パンスターズの方は、当地の緯度ではかなり難しいので、今のところチャンスがありません。レモンはかなり明るくなり、16日現在、低空ではありますが、5等星ぐらいで、肉眼で恒星状に簡単に見えます。46センチ反射でも8センチ双眼望遠鏡でも鋭い明るい核が見えています。テールの方は、46センチ64倍で一度以上確認できますが、それよりかなり長いものと思われます。ただし、淡いのでどこまで続くかは明確ではありません。コマは、球状星団のようで、近くにあるきょしちょう座の47番星を小型にしたような見え方です。色もグリーンであることが眼視でもわかります。そのときに写した写真をに載せました。露光は20秒の超短時間です。…」とのコメントと画像案内があった。画像は次を参照。
www.twinstarguesthouse.com/lemmon

現在、日本から見えないのが残念である。日本から見え始める4月下旬から5月上旬には

だいぶ暗くなっているだろう。

○ 2月に発見・検出された彗星

☆ P/2004 H₂ = 2013 C₁ (Larsen) J. V. Scotti (月惑星研究所:LPL, Arizona 大学)の通報によると2月 5.50 日 UT、Kitt Peak にある Spacewatch 1.8-m f/2.7 望遠鏡で得た画像から 19.4 等の P/2004 H₂ を検出した。2月 5 日の画像では、8"のコマと p. a. 288° に 0'.13 の微かな尾がみられた。ICQ 2012 Comet Handbook の中野主一氏の予報に対し、Delta(T)は、-0.58 day であった。(CBET 3404, 2013 February 6)。
後に 280P と番号登録された。

☆ C/2012 LP₂₆ (Palomar) 2012年6月、パロマー山自動サーベイプロジェクト、Palomar Transient Factory (PTF)のコース上に1.2-m f/2.44 Schmidt 望遠鏡 (測定:A. Waszczak と E. O. Ofek)で 20.8 等の外見上の小惑星状天体が発見され、小惑星仮符号 2012 LP₂₆ として数日前に MPS 453215 に発表されたが、2013年2月 5.5 日 UT、J. V. Scotti (月惑星研究所:LPL, Arizona 大学)が Kitt Peak の 0.9-m f/3 反射望遠鏡で得た CCD モザイク画像で拡散状(光度 20.0-20.3 等)であることがわかった(CBET 3408, 2013 February 7)。

☆ C/2013 C₂ (Tenagra) 2月14日、Tenagra 天文台の 0.41-m f/3.75 アストログラフで得た CCD 画像から 19.0 等の外見上の小惑星状天体を発見したことが P. R. Holvorcem (M. Schwartz と共に操作)により報告され、小惑星センターの NEOCP webpage に公表後多数の

CCD位置観測者(発見者を含む)によって彗星状であることがわかった(CBET 3417, 2013 February 17)。

☆ P/2013 CE₃₁ (MOSS) 2月5日、Morocco Oukaimeden Sky Survey (MOSS)のコースに 0.5-m f/3 反射望遠鏡で得た画像から 20.3 等の外見上の小惑星状天体を発見したことが Claudine Rinner により報告され、小惑星センターによって 2013 CE₃₁ と仮符号がつけられた(MPS 454006、2月17日発行)。他の CCD位置観測者によって彗星状であることがわかった。Richard Wainscoat と Larry Denneau (ハワイ大学)は、2月9日 UT、Haleakala の 1.8-m Pan-STARRS1 望遠鏡 (w フィルター)で得た画像から独立して発見し、p. a. 約 290° に > 1' の尾の存在に気づいた (CBET 3418, 2013 February 17)。
後に 281P と番号登録された。

☆ C/2013 D₁ (Holvorcem) Paulo Holvorcem と Michael Schwartz の通報によると、2月 16.31 日-16.35 日 UT、0.41-m Tenagra III アストログラフ(Nogales 近郊, アリゾナ州)で得た画像から Holvorcem によって、拡散状で、およそ p. a. 300° 方向に短い尾の気配のある彗星を発見した。2月 17.32 日-17.35 日のフォローアップ観測では、シーイングが良く (FWHM 3".6)、同じ望遠鏡で、中央集光で視直径 8"、p. a. 300° に広い 12"の尾が見えた。2月 18.42 日-18.46 日には同じく、p. a. 310° に 10"の尾が見えた (CBET 3420, 2013 February 20)。

○ 他の明るい彗星

他の明るい彗星は、C/2006 S3 (LONEOS)、
C/2009 P1 (Garradd)、C/2011 R1 (McNaught)、
C/2011 UF₃₀₅ (LINEAR)、C/2010 S1 (LINEAR)、
C/2011 J2 (LINEAR)、C/2012 K5 (LINEAR)、

C/2012 J1 (Catalina)、C/2012 L2 (LINEAR) (写
真 c)、C/2012 S1 (ISON)、63P/Wild (写真 d)、
274P/Tombaugh-Tenagra 等であった。

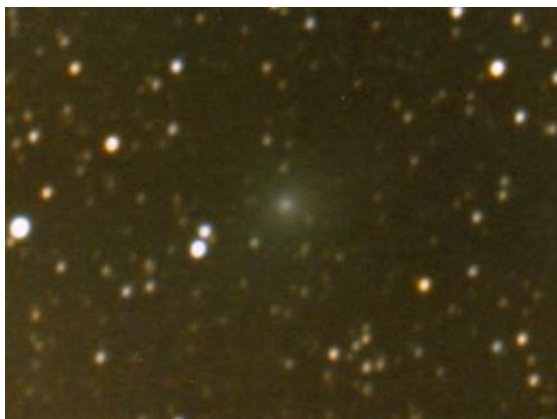
● 光度等観測報告

273P/Pons-Gambart (写真 a、b)

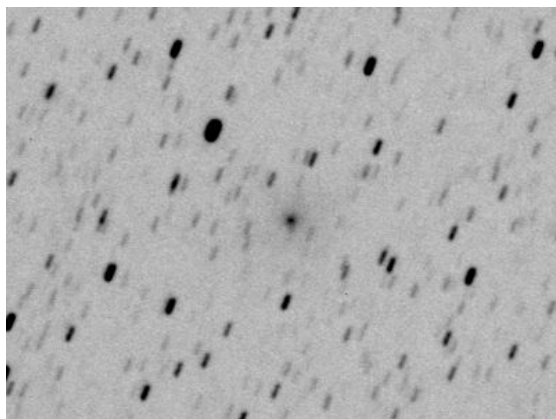
2013	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Feb.	9.86	11.0	1.8'	3	-	-	4/5	-	79×30cmL	永島和郎	①
	10.85	11.9	1.3	4	-	-	3/5	3/5	EOSX3*	張替憲	②
	16.84	11.9	1.7	4	-	-	4/5	2/5	EOSX3*	張替憲	③
	19.78	11.6	2.5	6	-	-	4/5	3/5	127×70cmL	関勉	
	20.79	11.4	1.8	3	-	-	3/5	3/5	EOSX3*	張替憲	②
	22.83	12.3	1.3	3	-	-	2/5	3/5	EOSX3*	張替憲	②

*200-mm f/2.8 lens

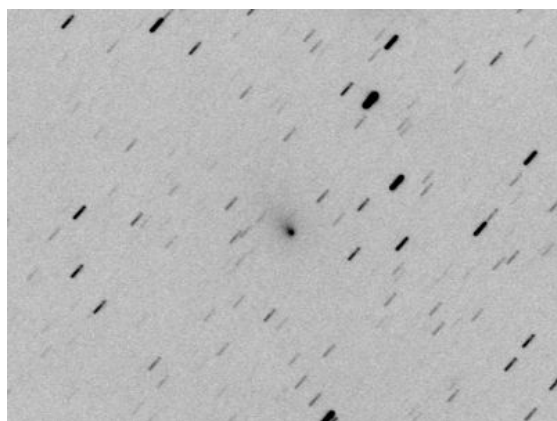
① 観測地：三重県 高見山東 H=630m ② 105 秒露出 ③ 100 秒露出



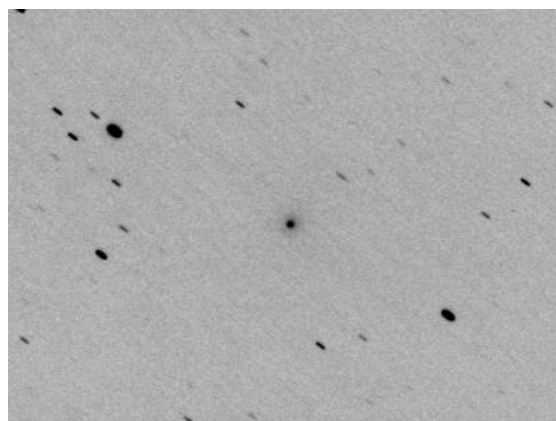
(写真 a) 273P/Pons-Gambart
2013, 02, 20 03h30m-33m (JST)
exp. 180s 70-cmL + Nikon D700
(c) 2013 芸西天文学習館



(写真 b) 273P/Pons-Gambart
2013, 02, 10 04h10.0m-24.2m (JST)
exp. 60s×13 TOA130 + CCD
三重県伊賀市上野 田中利彦氏



(写真 c) C/2012 L2 (LINEAR)
2013, 02, 20 20h09.0m-24.3m (JST)
exp. 60s×14 TOA130 + CCD
三重県伊賀市上野 田中利彦氏



(写真 d) 63P/Wild
2013, 02, 20 23h22.0m-43.9m (JST)
exp. 60s×20 TOA130 + CCD
三重県伊賀市上野 田中利彦氏